

診療所構造設備使用許可申請書

年 月 日

長野市保健所長 宛

住 所

氏 名

連絡先（電話）

〔 法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

下記のとおり診療所の構造設備の使用許可を受けたいので、医療法第 27 条の規定により申請  
します。

記

1 診療所の名称  
及び連絡先（電話）

2 所 在 地

3 病床種別病床数

療 養	一 般	合 計

4 使用許可を受けようとする構造設備

(1) 診察室及び処置室

診療科名	診察室床面積	処置室床面積	備 考

- (注) 1 診察室と処置室を兼用する場合は、処置室の面積を（ ）書きにすること。  
2 同一診察室を 2 以上の診療科で併用する場合は、診療科名欄に併記すること。  
3 同一診療科で 2 以上の診察室を有する場合は、各室ごとに記入すること。

(2) 手術室

区分	構造設備の概要					
	床面積	手術台数	床	壁	天井	防塵設備
〇〇手術室	m <sup>2</sup>					有・無
〇〇準備室	—					—
手術室関連 のその他の 設備	手洗滅菌設備		照明設備	材料室（庫）		器具消毒設備
	有・無		有・無	有・無		有・無

(注) 材料室を中央化している場合には、その中央材料室の施設・設備により記入すること。

(3) エックス線装置 別紙 ( ) のとおり

(注) 「別紙 (1) エックス線装置の届出様式」を別紙 ( ) として添付すること。

(4) 調剤所

室名	床面積	採光・換気の方法	冷暗所	備付け天秤	その他の設備概要	備考
	m <sup>2</sup>		有・無	感量 mg		

(注) その他の設備概要には、調剤機器等の概要を記入すること。

(5) 消毒設備（被服、寝具、器具等）

室名	床面積	設備概要	消毒方法
	m <sup>2</sup>		

(注) 1 消毒設備には、中央材料室も含めること。

2 設備概要には、消毒設備等の概要を記入すること。

(6) 分娩室及び新生児の入浴施設（産婦人科又は産科を有する場合）

室名	床面積	設備概要	備考
分娩室	m <sup>2</sup>	分娩台 台	
新生児入浴施設		槽	
新生児室		床	

(7) 機能訓練室等（療養病床を有する場合）

施設名	床面積 (m <sup>2</sup> )	主要構造	設備概要
機能訓練室			(主な機械・器具)
食堂			(入院患者1人当たりの面積)
浴室			(浴槽の概要)

談話室		床面積 (m <sup>2</sup> )	主要構造	設備概要
	専用			
	共用			(共用施設の名称、設置場所等)

(8) 歯科技工室

床面積	防塵設備	その他の設備
m <sup>2</sup>		

(注) 1 防塵設備には、ダストコレクター、フード等の防塵設備の概要を記入すること。

2 その他の設備には、研磨器等の設備の概要を記入すること。

(9) 患者の使用する廊下及び階段の幅、けあげ、踏面等

ア 廊下 (片廊下) cm (中廊下) cm

(注) 病院又は病床数 10 以上の診療所内の患者の使用する廊下のうちで、最も狭い幅の部分の距離を記入すること。「片廊下」とは片側のみに居室のある廊下を(中廊下)とは両側に居室のある廊下をいう。

イ 階段

区 分	階段数	階段幅	けあげ の 高 さ	踏 み 面 の 奥 行	踊 り 場 の 奥 行	防 火 戸	手 す り
直 通 階 段	本	cm	cm	cm	cm	有・無	有・無
避 難 階 段	本	cm	cm	cm	cm	有・無	有・無
その他の階段	本	cm	cm	cm	cm	—	—

(注) 1 病院又は病床数 10 以上の診療所内の患者の使用する階段のうちで、幅、踏み面の奥行、踊り場の奥行については最も狭いものを、けあげの高さについては最も高いものを記入すること。

2 直通階段と避難階段を兼用する場合は、その旨を備考欄を設けて記入すること。

(10) 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置、診療用放射線照射器具、放射性同位元素装備診療機器及び診療用放射性同位元素に関する施設

別紙 ( ) のとおり

(注) 「別紙 (2) から (7) までの届出様式」のうち該当するものを別紙 ( ) として添付すること。

(11) 病室

ア 各病室の病床数等

病棟名	病室名	病床 種別	病床数	床面積	1床当 床面積	採光 面積	直接外 気開放 面積	備 考
			床	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	

(注) 1 病室ごとに記入すること。

2 病棟ごとに病室数、病床種別病床数を記入すること「小計欄」を、病院全体帯の病棟数、病室数、病床種別病床数を記入する「合計欄」を作り記入すること。

3 小児病室は、備考欄にその旨記入すること。

4 結核、感染病室については換気の方法、消毒設備、他の部分及び外部に対する遮断等の方法、精神病室については保護のための方法を備考欄に記入すること。

5 ICU, CCU、未熟児病室、無菌病室等特殊な用途の病室については、病室の用途及び設備概要を備考欄に記入すること。

イ 採光面積又は直接外気開放面積の不足、直接外気に開放する窓等を設置しない場合  
又は廊下に直結しない病室に対する対策

病棟名	病室名	理 由	そ の 対 応 策

- (注) 1 理由欄には、採光面積又は直接外気開放面積の不足のいずれかを記入すること。  
2 その対応策は、照度不足を補うため、〇〇ルクスの照明器具を付設等具体的な対応策を記入すること。

(12) その他の処置室等

室 名	設 備 概 要	備 考

- (注) (1) から(14)までに該当しない診療の用に供する施設又は患者の利用する施設について記入すること。  
(例) リハビリテーション関係室、血液透析室等

(13) 防火設備

防火設備の種類	対 象 範 囲	個数	備 考
			主要防火設備の 配置図は、別紙 ( ) のとおり

- (注) 1 消防法施行令第7条に掲げる消火設備、警報設備及び避難設備の概要を記入すること。  
火気を使用する場所については、消火器も含め具体的に記入すること。  
2 主要な防火設備の配置を記した図面を添付すること。

(14) 医療用ガス設備

ガスの種類	使 用 場 所	安 全 対 策	備 考
			医療用ガスの 供給経路図は 別紙 ( ) の とおり

- (注) 1 安全対策には、ソフト面でなく、配管を色別になっている等ハード面の対策を記入すること。  
また、安全対策には、ガスの取り違えだけでなく、減圧対策も含む  
2 マニフールド室から使用箇所までの供給経路を記した図面を添付すること。